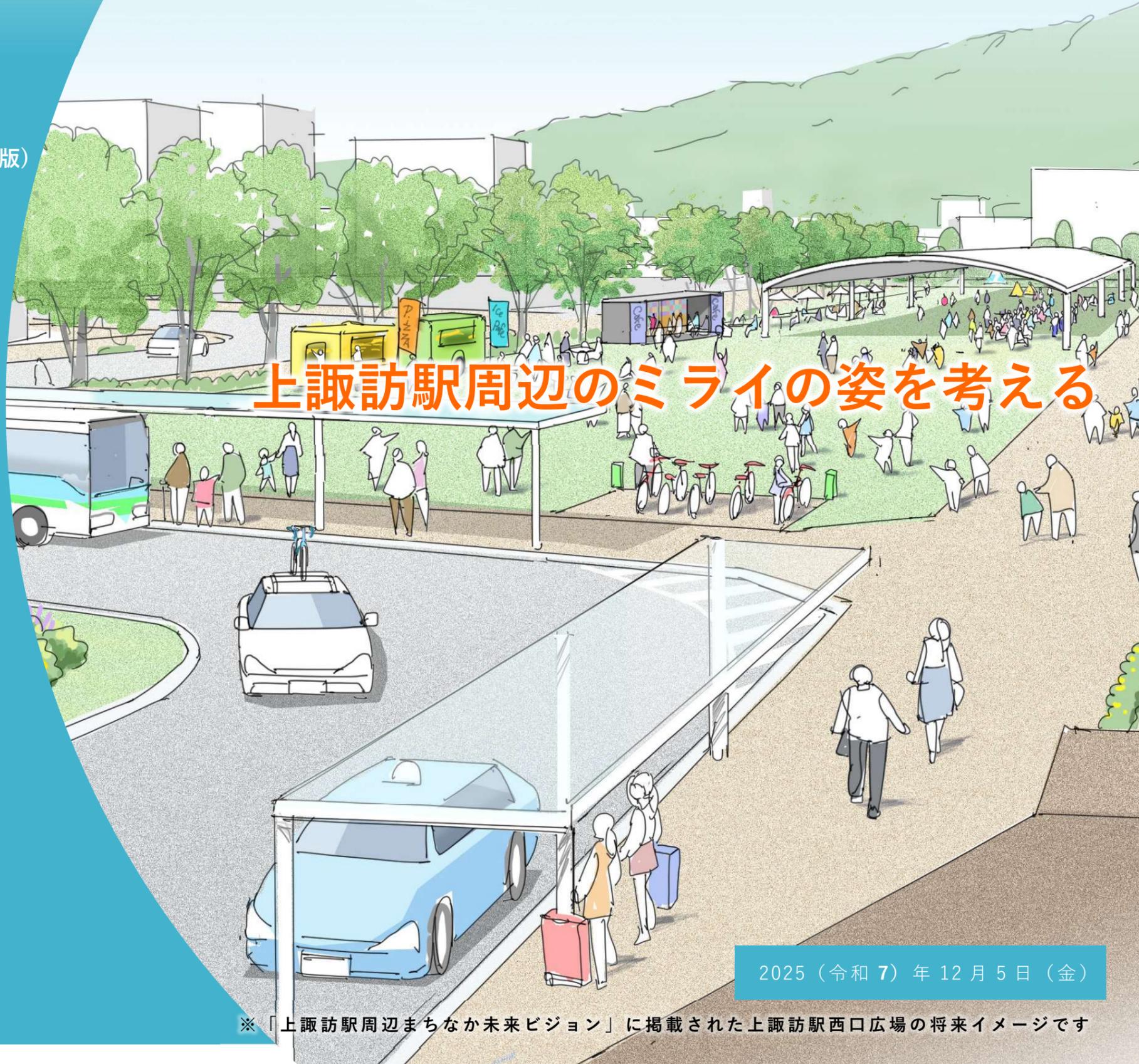


Contents

- I. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想検討委員会について(時点修正版)
 1. 検討委員会の設置目的について
 2. 第三回検討委員会と今後の進め方について
- II. 第二回検討委員会を踏まえた追加修正について
 1. 現況整理の追加項目（歴史・文化）
 2. ミライ像・ミライ方針
- III. 駅前エリアチャレンジ 2025 について
 1. 検証結果と基本構想への反映
- IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について
 1. 西口駅前広場から駅ホームへのアクセス機能の新設（東日本旅客鉄道株式会社からの提案を受けて検討した内容）について
 2. ミライの機能・ゾーニング（案）について
 3. ミライに向けた段階的な整備展開（案）について
 4. 論点整理（確認・意見いただきたい内容）について



上諏訪駅周辺のミライの姿を考える

2025（令和7）年12月5日（金）

※「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」に掲載された上諏訪駅西口広場の将来イメージです

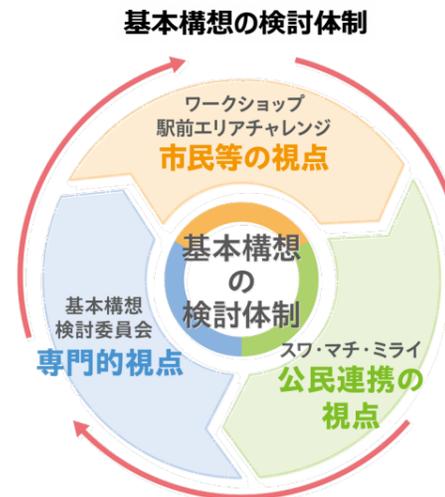
1. 上諏訪駅周辺地区整備基本構想検討委員会について（時点修正版）

1. 検討委員会の設置目的について（第一回検討委員会資料より）

- 「上諏訪駅周辺地区整備基本構想（案）」（以下、「基本構想（案）」という）を2025（令和7）年度に策定することを目指し、**駅周辺における有効的な土地利用や活気あふれるまちづくりに向けた、専門的かつ幅広い分野の意見を聴取するため**、「諏訪市上諏訪駅周辺地区整備基本構想検討委員会（以下、「検討委員会」という）を設置する。
- なお、基本構想の検討にあたっては、ワークショップ等による「市民の視点」、公民連携プラットフォームであるスワ・マチ・ミライ等との連携による「公民連携の視点」、検討委員会での「専門的な視点」の**三位一体の視点で検討を行うこととする**。

2. 第三回検討委員会と今後の進め方について

- 検討委員会は計4回を予定し、第一回では市や駅周辺の現況特性を共有し、検討の視点について、第二回ではミライ像・ミライ方針、機能・ゾーニングを共有し、区域内の活用や試行を踏まえた段階的整備の必要性等の意見をいただいた。
- 第三回では、検討委員会やワークショップ、駅前エリアチャレンジ2025の結果や東日本旅客鉄道株式会社からの提案を踏まえた**ミライの機能・ゾーニング、ミライに向けた段階的な整備展開について協議を行う**。
- 2026（令和8）年度前半に基本構想策定**を目指し、これにもとづく西口駅前広場整備を行い、2030（令和12）年度の供用開始を目途に進める。



検討委員会の内容

回	内容
1	・基本構想・検討スケジュール等について ・現況特性（第1回ワークショップ結果等を含む）について
2	・第1回検討委員会を踏まえた追加・修正について ・ミライ像・ミライ方針について ・機能・ゾーニング検討について
3	・これまでの検討等を踏まえた機能・ゾーニング、段階的な整備展開イメージについて ・駅前エリアチャレンジ2025、第3回ワークショップ結果について
4	・基本構想（案）のとりまとめについて

本日

■検討スケジュール

	R6年度<検討に向けた情報収集・整理と条件がため>						令和7年度<詳細検討と構想策定>						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
検討スケジュール	駅舎・周辺施設の現況整理・利用状況調査及び課題整理						駅周辺の施設の機能配置やゾーニングのパターン検討						パブリックコメント	西口駅前広場整備計画策定											
検討委員会						第1回 3月5日 現況特性について検討の視点について					第2回 8月25日 ミライ像・ミライ方針や機能・ゾーニング等について			第3回 12月5日 ミライの機能・ゾーニングや段階的な整備展開について	本日	第4回 2月頃 構想案のとりまとめについて									
ワークショップ 社会実験	パネルアンケート 11月9日・10日 駅周辺に欲しい機能等		WS① 42人参加 1月11日 ・駅周辺の好きなところ・困っているところの整理 ・市民等が考える駅周辺の目指す姿、目指すべきシーン、空間、機能の整理			WS② 26人参加 5月31日 ・ミライ像・ミライ方針の確認 ・駅周辺に求められる機能や配置（ゾーニング）、各機能の空間イメージを整理			駅前エリアチャレンジ2025 9月27日、28日 駅周辺で“自らやってみよう”企画をトライアルできる空間“滞在できる座り場”を創出			WS③ 11月16日 ミライの機能・ゾーニングとミライに向けた段階的な整備展開案の整理			上諏訪駅周辺地区整備基本構想（案）策定										
スワ・マチ・ミライ （エリアプラットフォーム）	空き家活用・ウォークアブル社会実験 11月9・10日		第1回講演会 4月29日			全体会議 5月19日			上諏訪駅周辺地区整備についての意見書			全体会議 12月3日			上諏訪駅周辺地区の検討状況に応じて、勉強会等、公民連携の視点から連携、情報共有										
											西口駅前広場 整備工事										西口駅前広場 供用開始				

II. 第二回検討委員会を踏まえた追加修正について

1. 現況整理の追加項目（歴史・文化）

第二回検討委員会の歴史についての意見

ミライ像・ミライ方針に書かれている歴史について、文脈で伝わるように整理が必要。

【諏訪の歴史・文化的資源】

- 諏訪湖を囲むように構える諏訪大社と自然をご神体とする諏訪信仰、御神渡りや御柱祭等、文化活動や信仰が諏訪の人々に根付いている
- 諏訪湖や高島城、旧甲州街道、並木通り、まちを流れる水路がまちの骨格を形づくり、街なかの歴史的な建造物とともに、現在に継承されている

- 諏訪湖や八ヶ岳連峰・霧ヶ峰、立石公園とその景観、上諏訪温泉等の自然資源が、市民の暮らしを豊かにするとともに、来訪者を魅了する観光資源となっている
- 冷涼で乾燥した気候や良質な空気・水で育まれた日本酒や発酵食品等の食文化、製糸業や精密機器製造等、諏訪の環境が生んだ産業が栄えた

【諏訪に根付く文化活動や信仰】

■ 諏訪大社

- ・国内最古の神社の一つ（1500-2000 年前に鎮座）
- ・五穀豊穡、狩猟・風・水・農耕の神として信仰される
- ・4 つの社が諏訪湖を囲むように構え、それぞれの社を巡る「四社巡り」が人気の観光

■ 諏訪湖と御神渡り

- ・諏訪盆地を形作る 2 大構造線「中央構造線」と「糸魚川—静岡構造線」によってできた凹地に諏訪湖が形成
- ・凍結時に割氷が山脈のように連なる自然現象「御神渡り」は諏訪大社の信仰の対象

■ 御柱祭

- ・7 年に 1 度、御柱を選び山から運ぶ「山出し」、境内に建てる「里曳き」を行う一連の神事
- ・地域の人々が協力し、長い期間をかけて準備する諏訪の誇り高き伝統文化



【市民の豊かな暮らし、来訪者の観光資源となる諏訪の自然】

■ 八ヶ岳連峰、霧ヶ峰（山並み景観）

- ・八ヶ岳連峰・霧ヶ峰等の山々の浄化作用により、諏訪地域にきれいな水と空気が形成
- ・霧ヶ峰高原は景勝地として観光スポットになっている

■ 立石公園（諏訪湖への眺望）

- ・諏訪湖とアルプス連峰を望め、「信州のサンセットポイント 100 選」、「新日本三大夜景・夜景百選」に選ばれる夕景と夜景が美しいビュースポット
- ・アニメのモデル地として有名であり、多くの観光客が訪れる

■ 上諏訪温泉

- ・断層や火山に起因し、温泉が豊富
- ・観光向けの温泉街のほか、地元住民向けの共同浴場が昔から残る



【現在まで継承されたまちの骨格と趣きある街並み】

■ 高島城

- ・水上輸送や防衛が行いやすい「湖城」として高島城 1598 年に誕生
- ・当時は諏訪湖畔に築城したが、江戸時代の干拓により現在の場所が内地地となった

■ 旧甲州街道の宿場町の街並み

- ・現上諏訪駅周辺は近世に温泉や湖等の資源を活用した宿場町として栄える
- ・近世に形成された主要道路や水路といったまちの構造、旧甲州街道沿いの商業地で発展した酒蔵等が現代まで残る

■ 片倉館、看板建築等の西洋風の文化

- ・製糸業が発展した明治期以降に西洋風の文化が発展する
- ・製糸業の財閥の保養所として西洋建築を取り入れた片倉館が温泉街に誕生
- ・旧甲州街道沿いの商業地に建物の外観を西洋風に装飾する看板建築が出現



【諏訪の環境が生んだ産業】

■ 日本酒・発酵食品

- ・清涼な水、温泉、気候、農作物により日本酒造りや味噌等の発酵食品造りが古くから盛ん
- ・旧甲州街道沿いに近世から並ぶ酒蔵を五蔵と呼び、現代まで酒蔵を巡るまちあるきが観光資源となっている

■ ものづくり

- ・冷涼で乾燥した気候や良質な空気・水等の諏訪の自然環境を活かし、明治期に製糸業が発展
- ・戦中から戦後に製糸業は衰退したものの、諏訪の環境や工場をそのまま使用できることから、精密機器産業が発展
- ・精密機器産業の一大集積地として「東洋のスイス」と称される



【上諏訪駅の歴史】

○ 開業時は蒸気機関車の石炭・水の補給、製糸業の貨物の取扱い駅としての役割を担った

- ・1905 年に開業した当時は蒸気機関車の基地が設置され、石炭や水などの補給地としての役割を持っていた他、旅客に加え貨物も取り扱い、繭・生糸の運搬で製糸業に大きく貢献

○ 諏訪の名物として誕生した温泉が現在まで受け継がれている

- ・現東日本旅客鉄道株式会社長野支社が考案した、ひとつひとつの駅に名物を作り、人を呼び込むことを目的とした「一駅一名物運動」により、1986 年にホームに温泉が誕生。現在は足湯に改装され、市民や観光客に親しまれている。



出典：諏訪大社 HP <https://suwataisha.or.jp/>
御柱祭 HP <https://onbashira.jp/>
諏訪観光協会 HP <https://www.suwakanko.jp/>

下諏訪観光サイト HP <https://shimosuwaonsen.jp/>
諏訪五蔵 HP <https://nomiaruki.com/>

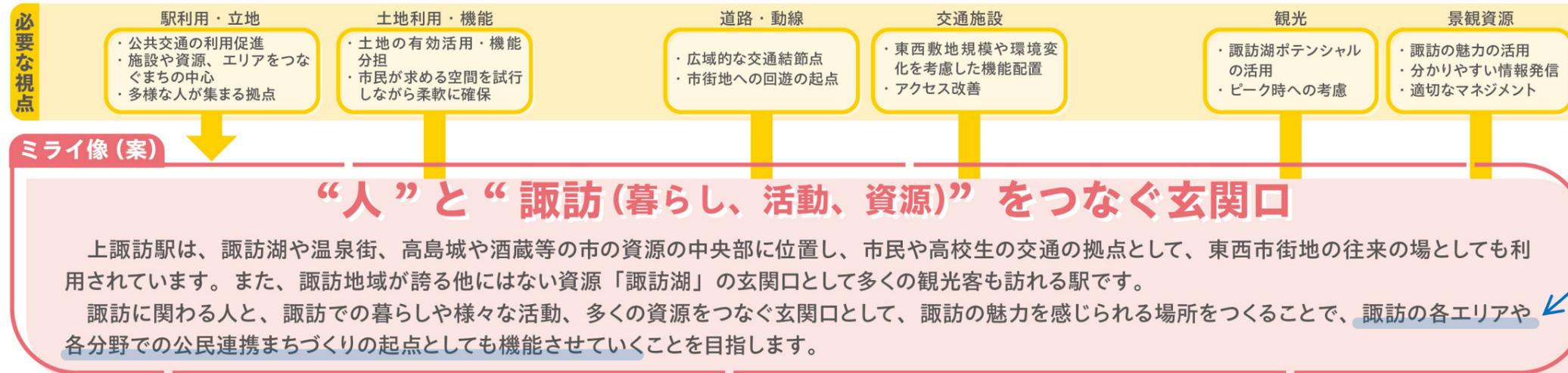
東日本旅客鉄道株式会社 HP <https://www.jreast.co.jp/press/20021/20020703/data01.html>
信州学「岡谷・諏訪はなぜ製糸日本一になったのか」講座資料
<https://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/files/pdf/2016silkkoza/42d1.pdf>

II. 第二回検討委員会を踏まえた追加修正について

2. ミライ像・ミライ方針

ミライ像・ミライ方針について、第二回検討委員会での意見や、スワ・マチ・ミライからの意見書との整合性確認を踏まえ、一部修正を加え、以下のように整理する。

検討委員会での意見
スワ・マチ・ミライからの意見



「駅周辺整備に呼応して上諏訪各エリアのまちづくりを進める」という目標を踏まえ、「各エリアでの公民連携まちづくりの起点として機能させていく視点」を追加し、修正しました。

ミライ方針(案)

01 だれもが気軽に立ち寄れる・居られる・使える場所を目指します

1-1 自由で使いやすいオープンな広場と快適な滞在空間の創出

- 市民や来訪者が、駅利用や通行以外にも多目的に自由に使える空間・場の創出
- 市民や来訪者の快適な滞在をサポートする機能・施設の充実と積極誘致
- 災害時やイベント時にも配慮した機能・施設の配置

1-2 段階的な整備に合わせたフレキシブルな土地利用の実現

- 駅東西間の役割分担、利用者の利便性に配慮した適切な機能・施設の配置を試行しながら柔軟に確保
- 土地所有者との連携による、駐車場等の機能集約や土地の有効利用
- 社会状況や技術・気候の変化にも柔軟に対応できる、滞在を楽しめる環境や仕組みづくりを、公民連携により推進

「多様なアクティビティを涵養する“ひろば”にしていく」という目標と合致しています。

「構想・計画・事業の進捗に合わせて試行的な取り組みを重ねていく」という駅周辺整備の進め方と合致しています。

あらゆる環境変化にも公民連携により柔軟に対応できる仕組みづくりの必要性についての意見を踏まえ、追加しました。

ミライ方針(案)

02 暮らし・観光・ビジネスにおける交通のハブとなる場所を目指します

2-1 駅で分断されない一体性の確保

- 移動だけにとどまらない自由通路
- 西口から駅へのアクセス性の改善(改札口のスマート化)
- まちなかへの歩行を促す動線や空間の創出

2-2 利用特性や立地特性に応じた交通空間の再編

- 施設立地や道路状況、東西の敷地規模等を踏まえた交通空間の改善
- 利用者属性や多様な交通手段へのニーズを想定した空間配置
- 利用者の安全性・利便性に配慮した歩行者動線の改善

「諏訪圏域の人の動きのハブとして機能を備える」という目標と合致しています。

ミライ方針(案)

03 諏訪の魅力が見える・感じられる場所を目指します

3-1 諏訪湖への視点場づくりと景観づくり

- 他にはない諏訪の魅力「諏訪湖」や「山なみ」等への視点場の創出
- まちの資源を活かした景観づくりと一体的な景観デザイン

3-2 まちなかへいざなう資源のショーケースとなる場づくり

- 諏訪大社や御柱祭、ものづくり、味噌や酒蔵などの伝統文化を体感・体験できる資源のショーケースとなり、まちへの回遊を誘発する場づくり
- 諏訪湖や温泉・高島城・立石公園等の諏訪の魅力や施設、ガイドやまちづくり活動についての情報発信の充実化
- 目的地やまちの資源へとスムーズに誘導する案内サインの設置

「まちの顔にふさわしい空間をデザインする」という目標の中の、「地区の個性を踏まえた唯一無二の空間デザイン」「一貫性と統一感のあるビジュアルデザイン」が大切という考え方と合致しています。

「空間と情報でエキとまちをつなぐ」という目標と合致しています。

「まちの回遊を誘発する、自然・歴史・飲食・まちなみ等の資源のショーケースとなる場づくり」に対して、諏訪が持つ歴史を具体的に伝えた方が良いという意見を踏まえ、修正しました。

1. 検証結果と基本構想への反映

【検証結果：空間の使い方や駅周辺のニーズの確認】

駅前空間の活用ニーズや、駅前や自由通路における人々の活動変化が確認できた

- ・市民から飲食・物品販売やマッサージ体験や手作りワークショップ等、31件の企画応募と約1,270人の来場があり、多目的に自由に使える空間・場のニーズが確認できた。
- ・来場者から幅広く多様な活用ニーズが確認でき、本取組では実施していないアクティビティの需要も確認できた。

企画応募者として本取組への関与や来場により基本構想の周知につながった

- ・企画者向け事前説明会の実施や会場での周知パネルの設置により、駅周辺地区整備に向けた取組を幅広く周知できた。

【基本構想への反映：創出すべき空間・規模感の検討】

歩行者の安全性を考慮した十分な歩行空間を確保したうえで、本取組で創出した空間よりやや広め（約3,000㎡程度）のニーズを確認

- ・空間規模は全体の約62%が「満足・やや満足」と回答しており、概ね満足度が高いものの、子どもの遊び場や発表ステージは本取組で創出した空間よりやや広い空間規模を求める意見があった。
- ・発表ステージの観客スペースや企画ブース前に、人が溢れる様子がみられ、歩行者の通行が困難な様子もみられた。
- ・広場には車が通行しない安全に配慮された空間、発表ステージには屋根が欲しいという意見も多数確認できた。

【実施概要・趣旨】

■ 企画概要

西口駅前広場の一部道路で交通規制を行い、9/27(土)、9/28(日)の2日間、一部の作品展示企画はその後1か月間実施した。

来場者数：約470人(1日目)、約800人(2日目)

【西口駅前広場】

◆「駅周辺でやってみたいこと」を募集し、実践する場

(応募件数：31件)

- ・市民から募集した企画や事務局によるワークショップの実施

◆市民、観光客を含め、多世代過ごせる場

- ・イス・テーブル、ハンモック等の滞留空間や子どもの遊び場の創出

【自由通路】

◆「駅周辺で情報発信したいこと・もの」を募集し、試行する場

- ・市民の作品展示や基本構想の周知パネル設置

【東口改札前】

◆駅周辺観光資源や西口駅前広場への案内サイン・パネルの設置

- ・まちなかの主要観光地まで誘導するため、はがせる路面シートを設置
- ・基本構想の周知や社会実験の西口会場へ誘導するパネルを設置



諏訪清陵高校吹奏楽部による演奏発表



日陰の滞在空間で飲食を楽しむ来場者



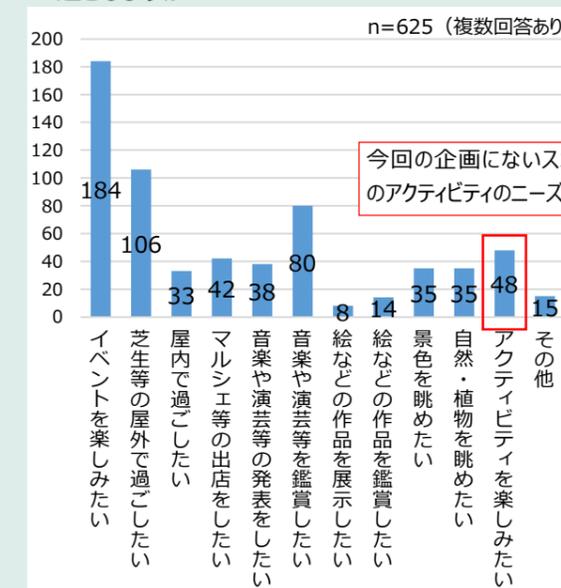
地元高校生による参加型ペイントフオスポットづくり



事務局ワークショップ(花火アート)の参加者

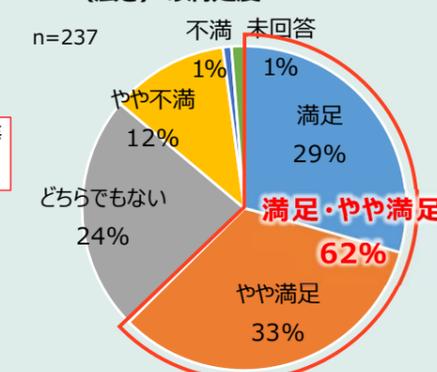
【検証結果：空間の使い方や駅周辺のニーズの確認】

Q 駅周辺の空間を使って、自分だったらどのように過ごしますか



検証手法：アンケート調査、滞在者数・滞在状況調査

Q “自由で使いやすいオープンな広場と快適な滞在空間”の空間規模(広さ)の満足度



観客スペース外から鑑賞する人



緑地部の日陰で飲食を楽しむ様子

【空間規模に対する主な自由意見】

- ・自動車が入れず、いろいろなコンテンツができるようもう少し広い空間が良い
- ・子どもたちが安全に遊んで走り回れる空間として、もう少し広い空間が良い
- ・発表スペースも観客スペースももう少し広く、屋根があると良い
- ・芝生広場はゆっくり休むにはちょうどよくて、使い方もすごい満足

【基本構想への反映：創出すべき空間・規模感の検討】

現西口駅前広場面積：約3,500㎡

西口駅前広場（交通ロータリー以外）：約2,900㎡



歩行空間：

現駅前広場の最大幅員と同幅員を確保（10m）

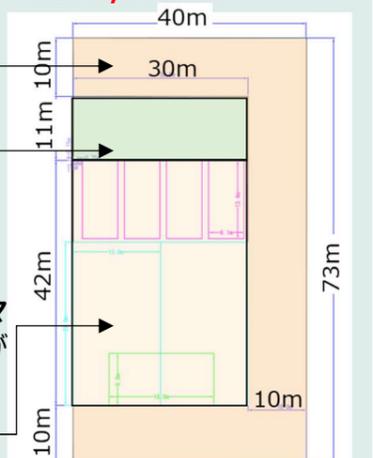
リラックス空間：

エリアチャレンジと同規模

多目的に使える空間：

エリアチャレンジから、人が溢れていた“ライブパフォーマンス”や“子どもの遊び場”を拡大、アンケートで希望があった「アクティビティ空間」等が可能な規模を確保（エリアチャレンジの1.5倍程度）

- 多目的で自由に使える空間面積：約1,260㎡
- リラックス空間面積：約330㎡
- 歩行空間：約1,330㎡



- 凡例
- バスケットコート
- バドミントンコート
- ステージ・観客席
- 人



西口駅前広場



東口改札前



自由通路

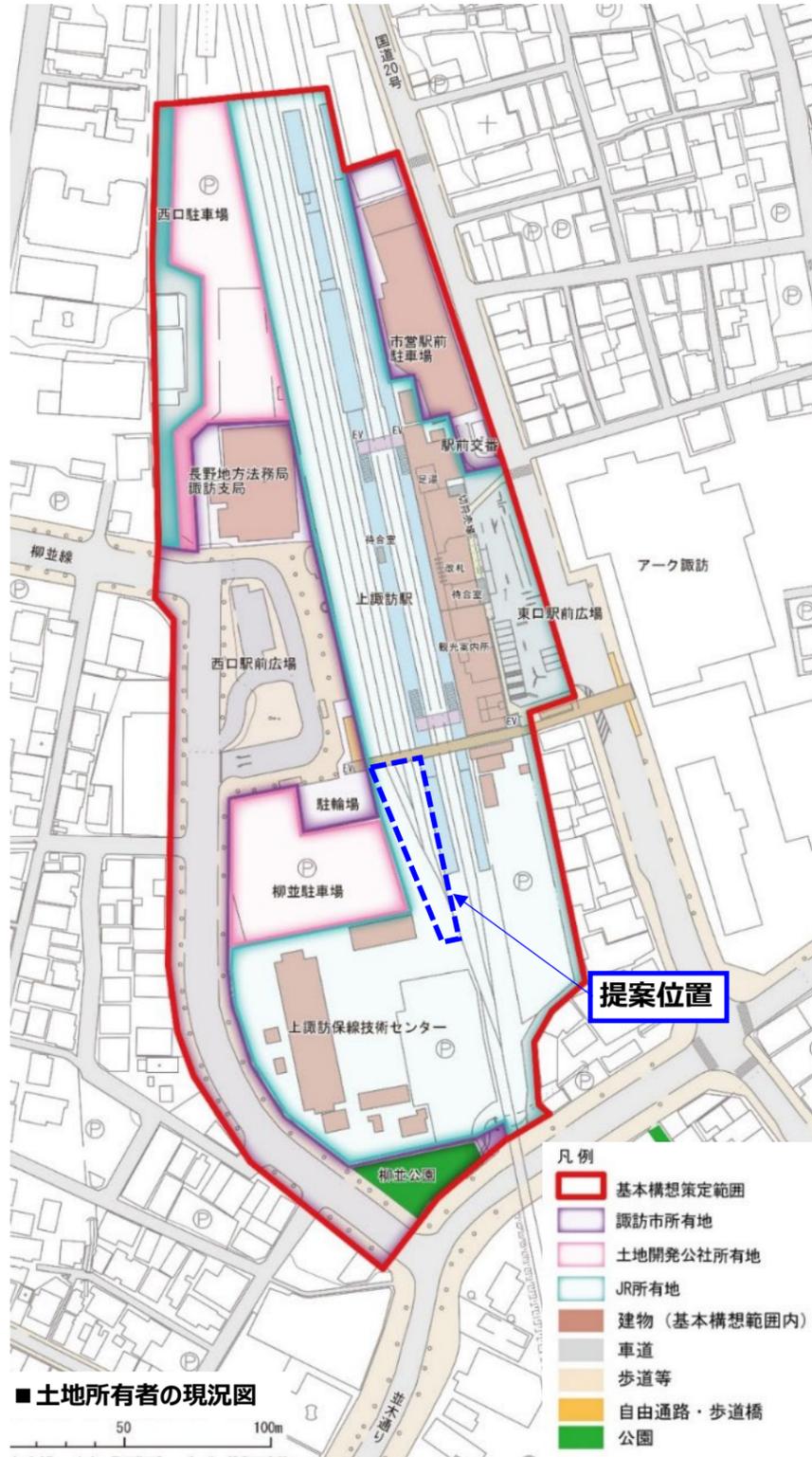


IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について

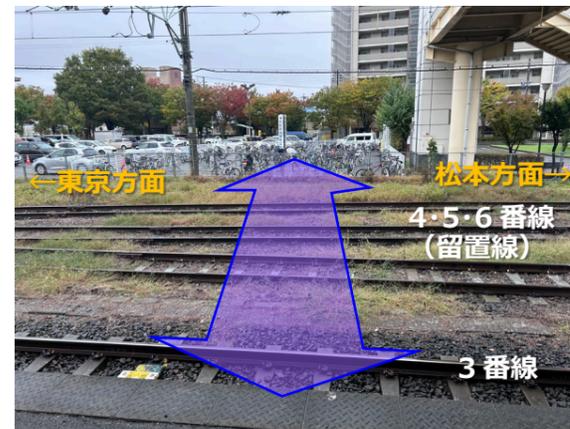
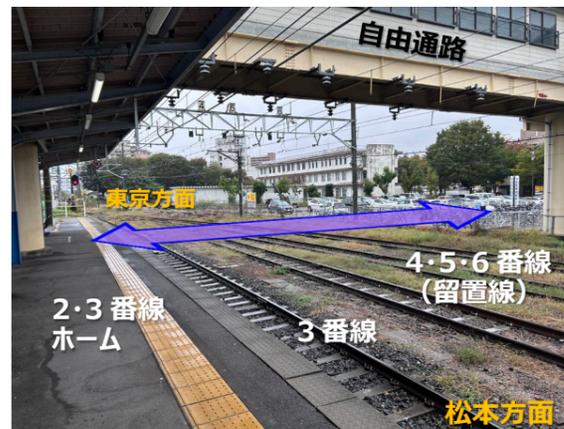
1. 西口駅前広場から駅ホームへのアクセス機能の新設（東日本旅客鉄道株式会社からの提案を受けて検討した内容）について

東日本旅客鉄道株式会社から「西口駅前広場から駅ホームへのアクセス機能の新設」に向けてのご提案をいただいた。提案位置や内容を整理する。

【提案位置／留置線及び3番線南側の一部】



【提案内容】



IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について

2. ミライの機能・ゾーニング（案）について

【将来目指すべきミライの機能・ゾーニング（案）】

現況特性や敷地形状、これまでの検討（検討委員会、ワークショップ、駅前エリアチャレンジ 2025）等を踏まえ、将来目指すべきミライの機能・ゾーニング、空間・活用イメージを整理する。

【西口】

来訪者を含むまちとの結節・滞在機能

観光のポテンシャルを活かした来訪者のための広域交通結節、自由で使いやすいオープンな広場・快適な滞在空間や諏訪の魅力発信する資源のショーケース機能の創出

諏訪湖や高島城等の観光資源をつなぐ主要動線の確保

自由に使える広場機能・快適な滞在機能

- ▶ 店舗軒下と一体的に使える広場（芝生広場等）
- ▶ 雨天時も多様な活動が可能な軒下空間



東武動物公園駅前 みんなの広場
出典：公共 R 不動産 HP



無印良品 東武動物公園駅前店

諏訪湖への視点場・資源のショーケース機能

- ▶ 柳並線の軸線上から諏訪湖が感じられる視点場空間
- ▶ 周囲を望める視点場となる屋上展望デッキ空間



女川駅展望デッキから女川湾を望む
出典：EA協会



寄居駅南口駅前拠点施設の展望デッキ
出典：寄居駅南口駅前拠点施設 HP

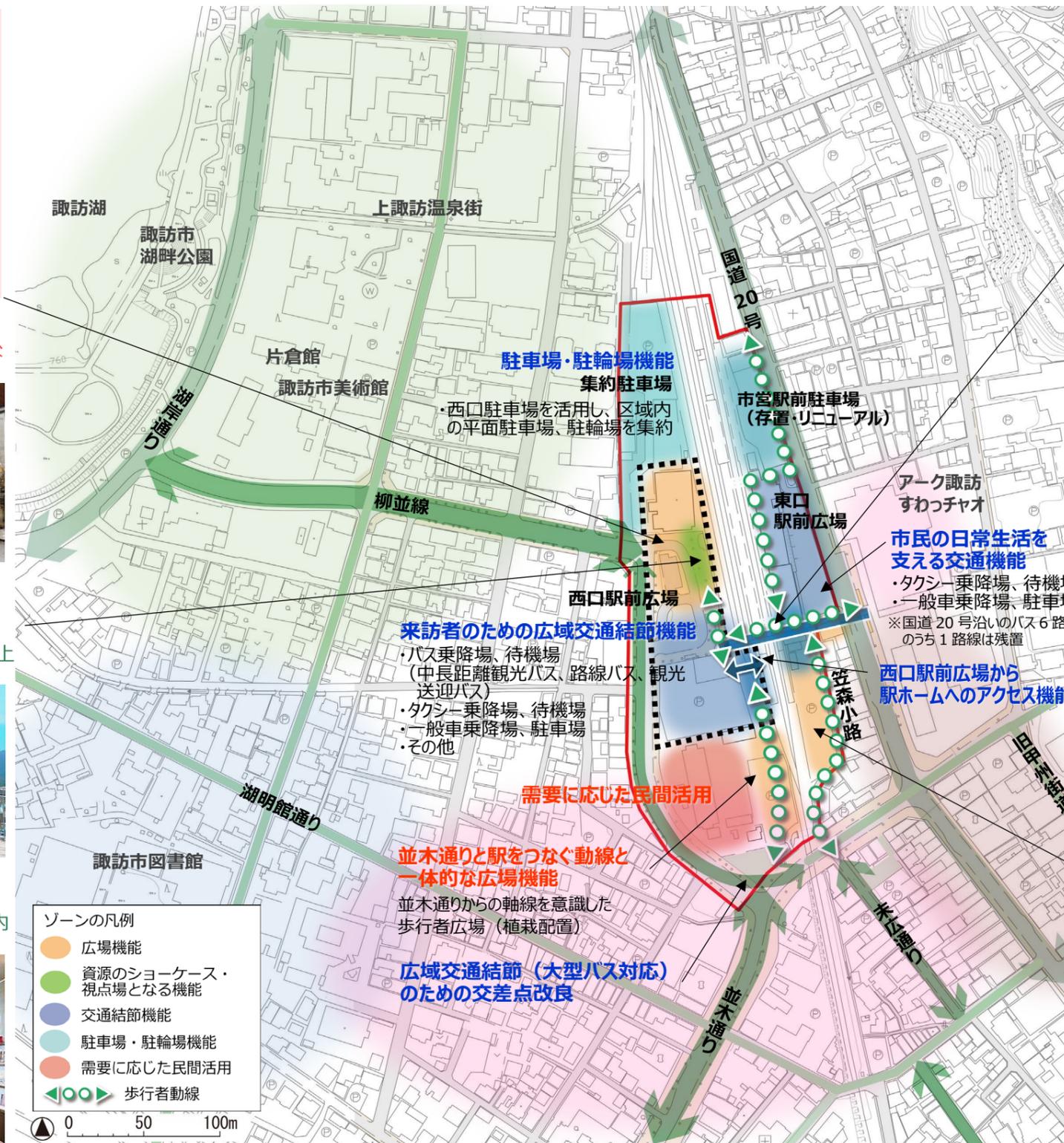
地域の魅力を発信するアンテナショップやカフェ



武雄温泉駅 武雄旅書店



石和温泉駅 ワインの試飲ができる観光案内所
出典：エノマティック HP



【駅舎・自由通路】

東西をつなぐ結節機能

移動だけにとどまらない、多様な機能を持った駅舎・自由通路

移動だけにとどまらない東西アクセス機能

- ▶ 電車や駅前広場への視点場や市民の情報発信の場となる自由通路



西鉄柳川駅/自由通路
出典：WAO 建築事務所 HP

【東口】

市民の日常生活を支える機能

市民の日常生活を支える交通結節、滞留機能の創出

ヒューマンスケールなまちをつなぐ回遊動線の確保

市民の憩い・賑わいの滞在機能

- ▶ 笠森小路沿道店舗と連携した滞留施設や小広場



甲府駅前/甲府夢小路
出典：甲府観光ナビ HP

※写真は、参考とする空間や活用イメージです。

IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について

【ミライの駅周辺で想定される使い方・過ごし方】

ミライの機能・ゾーニングが実現することで、想定される暮らしや駅周辺の使い方・過ごし方をターゲット毎の1日の行動シーンとして整理する。

ケース1 諏訪出身のサークル仲間の1日

【ミライの駅周辺での過ごし方】

大学を機に上京。
リノベーションされたおしゃれなカフェやベーカリーと一緒に楽しもうと、大学の友達を連れて久しぶりの諏訪へ。
上諏訪駅で降り立つと、駅には五蔵や高島城、諏訪湖畔の足湯など、素敵な情報がたくさんで、初めて諏訪を訪れた友達も大興奮。
早速、駅前でレンタサイクルを借りて、お気に入りの場所を案内。
レトロな街の雰囲気や滑らかなお湯、おいしいお食事に友達も諏訪を好きになってくれて、連れてきた私もうれしい気分。



- 10:30 ① 高速バスで上諏訪駅西口駅前広場に到着
物産店や諏訪の歴史の展示コーナー、日本酒の試飲コーナーを見かけ、諏訪の魅力に触れる
-友達は試飲コーナーがすごく気になるらしい！五蔵の本店も行ってみよう
- 11:00 ② 駅前のレンタサイクルを借り、未広通りへ
- 11:15 ③ レトロでおしゃれなカフェをめぐり、お目当てのベーカリーでランチ
- 13:30 ④ 高島城へ向かい、諏訪の歴史ときれいな桜を堪能
- 15:00 ⑤ 諏訪湖へ向かい、湖畔をサイクリング
途中で足湯に寄り、諏訪湖を見ながら休憩
- 17:30 ⑥ 温泉旅館に到着、温泉に浸かり、のんびり一泊
-借りたレンタサイクルをここで乗り捨てられて便利！
- 翌日
7:30 ⑦ 旅館で朝食
-昨日をのんびり振り返る予定が、味噌の食べ比べに夢中になる
- 9:30 ⑧ 諏訪五蔵を呑みあるき、お土産を購入
- 12:30 ⑨ 特急あずさで帰路へ

ケース2 出張に来たビジネスマンの1日

【ミライの駅周辺での過ごし方】

午後からの打合せに間に合うように、早めのあずさを利用して蕎麦屋へ。
打合せ後はサクッと一風呂浴びた後、あずさの出発時間まで笠森小路で五蔵呑み比ベセットを楽しむ。
同じく出張帰りのグループや地元の常連さんと一緒に、諏訪の昔話やまちなかのおいしいお店の話で盛り上がる。



- 12:00 ① 特急あずさで上諏訪駅に到着
- 12:30 ② 駅前の蕎麦屋で昼食
- 13:30 ③ 取引先と打合せ
- 15:30 ④ タクシーで西口駅前広場へ
諏訪湖の見えるカフェでリモートワーク
- 16:30 ⑤ 帰宅前にサクッと楽しめる場所を情報案内コーナーで探す
-駅周辺では日帰り温泉が充実しているみたい
-短時間でも諏訪を楽しめるのはうれしい！
- 17:00 ⑥ 日帰り温泉に寄る
- 18:30 ⑦ 笠森小路で五蔵飲み比ベセットを堪能
テラス席の出張帰りグループ、地元の常連さんと楽しく食事
-諏訪の魅力をこれでもかとプレゼンされ、すっかり諏訪の虜に！
-出張の機会を見つけてまた諏訪に訪れたい！
- 20:30 ⑧ 特急あずさで帰路へ

IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について



ケース3

幼児と過ごすママの1日

【ミライの駅周辺での過ごし方】

岡谷に通勤する夫を駅まで送ったあとは、天気がいいので駐車場に車を停めて、子供と一緒に芝生広場でピクニック。キッチンカーでジャークチキンサンドとドリンクを買って、レジャーシートを広げ、駅前のブックコーナーで借りた絵本を片手にのんびりとした時間を過ごす。



- 8:30 ① 車で西口駅前広場のロータリーに到着
パパは在来線で岡谷の職場へ
- 9:00 ② 駐車場に車を止めて、西口駅前広場と駅周辺をお散歩
駅前のブックコーナーで絵本を借りる
- 12:00 ③ 芝生広場にレジャーシートを敷き、お昼ごはん
子どもは用意したお弁当、自分はキッチンカーでジャークチキンサンドとドリンクを購入
-生まれ変わった駅前広場はイベントが盛ん！
平日でも多くのキッチンカーが出店
- 13:30 ④ 借りた絵本を読み聞かせたり、シャボン玉で遊んだり、のんびり時間を過ごす
-途中で自分も子どもも眠くなり、少しうたた寝
- 16:30 ⑤ キッチンカーのドリンクを片手に、ツルヤで夕飯の食材をお買い物
- 18:00 ⑥ 在来線でパパが帰ってくる
駅前広場で待ち合わせ
- 18:30 ⑦ 車で帰宅



ケース4

電車で市内の高校に通う学生の1日

【ミライの駅周辺での過ごし方】

学校の帰りにすわっチャオで友達と一緒に勉強。お迎えの時間より少し早めに切り上げて、西口広場の木陰のベンチでのんびりカフェタイム。スムージーやタピオカドリンクにクレープ、学割サービスがうれしい！



- 7:30 ① 在来線で上諏訪駅に到着
車通りが少ない安全な末広通りを通して友達とおしゃべりしながら高校へ
- 8:30 ② 高校に到着、始業
- 15:30 ③ 学校を終えて友達と上諏訪駅へ
すわっチャオで一緒に勉強
- 17:00 ④ 自由通路のイベント情報ポスターを見ながら、西口駅前広場へ
西口駅前広場の木陰で友達とのんびりカフェタイム
-風が涼しくて気持ちいい！こうやってのんびり過ごす学生が増えたからか、
カフェは若者にうれしいメニューがいっぱいで学割サービスも大好評！
- 18:30 ⑤ 友達と解散、近くにいた家族が迎えに来てくれることに
家族におつかいを頼まれ、ツルヤでお買い物
- 19:00 ⑥ 東口から車に乗り、帰宅
-東口のロータリーは広くなって出入りがスムーズ！
お母さんが学生のころは改札のない西口で乗り降りしていたんだって

IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について



ケース5 セカンドライフを楽しむ ご夫婦の1日

【ミライの駅周辺での過ごし方】

湖畔をウォーキングした後は、西口に新しくできた屋上テラスでランチ。
庇空間でマルシェも開催されているので、手作りスイーツをお土産に。
自由通路のギャラリーでは、諏訪の魅力を集めた写真展も開催。
今度は写真の場所に訪れましょうね、と遭遇した友人夫婦と約束！



- 10:00 ① 路線バスで諏訪湖畔に到着
湖畔をウォーキング
- 11:30 ② 柳並線を通り、上諏訪駅へ
- 12:00 ③ 西口に新しくできた、
諏訪湖の見える屋上テラスでランチ
-景色もよくて平日でもたくさんの人！
- 13:30 ④ 駅前のマルシェでお買い物
手作りスイーツを孫へのお土産に購入
-庇の下で開かれているから涼しくてありがたい！
- 15:00 ⑤ 自由通路のギャラリーで友人夫婦と遭遇
一緒に地元写真家の展覧会を楽しむ
-諏訪にずっと住んできたのに、見たことのない風景があってびっくり！
友人夫妻と今度行ってみよう
- 16:30 ⑥ 路線バスで帰宅



ケース6 週末のイベントに訪れた ファミリーの1日

【ミライの駅周辺での過ごし方】

毎年楽しみにしている駅前広場のイベント。今年は、吹奏楽部の娘の演奏発表と、友人のダンス発表、書道パフォーマンスもあり、見どころがたくさん。
商店街からおいしいお酒や焼き鳥、ベーカリーショップ、手作り品など、柳並線までたくさんの出店で1日中楽しく過ごす。
来年は、息子もスケートボード体験コーナーを企画して出店すると張り切っている。



- 9:30 ① 車で西口駅前広場の駐車場に到着
諏訪市に住んでいる友人ファミリーと合流
- 10:30 ② 娘の吹奏楽部の演奏発表を楽しむ
-観客席は木陰が多く、快適に演奏を堪能！
- 12:00 ③ イベントの出店で昼食を買う
芝生広場にレジャーシートを敷いてピクニック
-柳並線まで出店が並び、どれを食べようかとうれしい悩み、
- 14:00 ④ 友人が出演するダンス発表、書道パフォーマンスを楽しむ
- 16:30 ⑤ 息子とともに、マウンテンバイク体験を楽しむ
-新たな広場はアーバンスポーツが楽しめるエリアも！
来年は息子が通うスケートボード教室が体験イベントを出すみたい！
- 18:30 ⑥ 柳並線の出店で今日を振り返りながら夜ご飯
パパ達は五蔵の日本酒と焼き鳥を嗜む
- 20:30 ⑦ 友人と解散し、車で帰宅

IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について

3. ミライに向けた段階的な整備展開（案）について

前項で整理した「ミライの機能・ゾーニング（案）」の実現に向けての段階的な整備展開を整理する。駅施設に関する東日本旅客鉄道株式会社の提案・意向や法務局の移転状況、区域内の試行・検討を踏まえ、段階的に整備・活用を行う。

【整備展開スケジュール（案）】

年度	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19	2038 R20	2039 R21	2040 R22	2041 R23	2042 R24	2043 R25	2044 R26	2045 R27	2046 R28
主な動き	●諏訪湖 SIC 開通																					
区域内の整備	●西口駅前広場整備																					
区域内の活用・試行	●広場の活用																					
交通	●交通再編に向けた試行																					

駅周辺での活動（企画・企画参加者）の拡大 まちなかでの活動やまちなかでのまちづくり事業との連携の拡大

ステップ 1（案）

- 【整備時期】
 - 西口駅前広場供用開始（2030/R12年度）までの完成を目指す
- 【整備範囲】
 - 現況の西口駅前広場、柳並駐車場、諏訪湖口自転車駐車を活用
 - 3番線及び留置線（4・5・6番線）の東京方面の出入りの廃止による東日本旅客鉄道株式会社の敷地を活用
- 【整備内容】
 - 西口駅前広場（暫定形）
- 【実現すること】
 - 新たな過ごし方（のんびり休憩、外遊び、小規模イベント活用等）が可能に
 - 暫定チャレンジショップで、西口で諏訪湖を感じたり、諏訪の情報や資源に触れ、まちなかの資源や場所に円滑に移動できるように
- 【次のステップに向けた試行・検討】
 - 広場活用のためのルール・仕組みづくりの試行・検討
 - 暫定チャレンジショップを活用し、施設入居者の発掘や運用方法を検討（地元事業者、商店、活動団体と連携した資源のショーケースづくり）



ステップ 2（案）

- 【整備時期、周辺動向】
 - 法務局の敷地が活用できるタイミングで整備し、2033/R15年度頃までの完成を目指す
 - リニア新幹線開通の動向により、新たな交通需要の可能性が高まる
- 【整備範囲】
 - ステップ1の範囲に加え、現況の法務局敷地、西口駐車場（東日本旅客鉄道株式会社）、東口月極駐車場（東日本旅客鉄道株式会社）を活用
- 【整備内容】
 - 西口駅前広場から駅ホームへのアクセス
 - 西口駅前広場（完成形）
 - まちなかの歩行を促すための並木通りへの歩行者動線
 - 集約駐車場
 - 笠森小路と連携した憩いや賑わいの滞留施設・広場
- 【実現すること】
 - 西口から駅ホーム（松本方面）へのアクセスが可能に
 - 広場空間が広がり、ステップ1より自由な使い方・過ごした方が可能に
 - 資源のショーケースや諏訪湖への視点場となる施設が整備され、市民や来訪者の快適な滞在、まちなかの資源への円滑な誘導、まちなかでの活動との連携が可能に
 - 笠森小路と連携した滞留施設・広場が整備され、市民や来訪者の快適な滞在が可能に（市民、来訪者の交流の場）
- 【次のステップに向けた試行・検討】
 - 広場の本格運用に向けたルール・仕組みづくり



IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について

ステップ3

【整備時期、周辺動向】

- ・東口駅舎の建替えのタイミング（2045年度頃）
- ・対象区域内の整備により、駅周辺の民間需要が高まる
- ・国道20号バイパス整備の動向により、国道20号の混雑緩和が期待される

【整備範囲】

・現在の自由通路、東口駅舎、東口駅前広場、保線技術センター

【整備内容】

- 東口駅舎、自由通路

①案 東口駅舎の移設建替え（地上駅新設）、自由通路のリノベーション

②案 東口駅舎と自由通路の一体的に整備（橋上駅舎+自由通路の新設）

- 東口駅前広場
- 並木通りと柳並線の交差点改良
- 並木通りと駅をつなぐ歩行者動線と一体的な広場空間 ※並木通りからのみどりの軸線を確保
- 保線技術センター敷地での民間活用（複合施設、広場等）

【実現すること】

①案 地上駅新設により、快適な滞在が可能に

- ・1番線（新宿方面）ホームへの地上でのアクセスが可能

②案 橋上駅舎（南側跨線橋の撤去）と自由通路の新設による施設の一体化により、駅設備の集約やまちの顔となるシンボリックな施設としての整備が可能に

- ・跨線橋での移動なしに、1番線（新宿方面）、2番線（松本方面）どちらのホームにもアクセスが可能

・移動だけにとどまらない自由通路

- ・東口駅前広場の再整備により、安全でゆとりある歩行・滞留空間や交通機能が充実
- ・並木通りと柳並線の交差点改良により、大型バスのスムーズな通行が可能に
- ・並木通りと駅をつなぐ歩行者動線と一体的な広場空間の整備により、まちなかへの歩行や回遊につながる
- ・保線技術センター敷地の土地の有効活用により、駅周辺の快適性や拠点性が強化

①案 東口駅舎の移設建替え（地上駅新設）、自由通路のリノベーション



②案 東口駅舎と自由通路の一体的に整備（橋上駅舎+自由通路の新設）



IV. ミライの機能・ゾーニング（案）について

4. 論点整理（確認・意見いただきたい内容）について

東日本旅客鉄道株式会社からの提案を受けて検討した案や、その案に対する第三回ワークショップでの意見を踏まえ、確認・意見いただきたい内容について整理する。

<p>【確認内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ミライの機能・ゾーニングの東西役割分担の方向性の確認 東口は「来訪者を含むまちとの結節・滞在機能」、西口は「市民の生活を支える機能」として整理 ◎段階的な整備展開の確認 ステップ3（案）まで時間を要するため、ステップ2（案）が当面の完成形として整理

【意見いただきたい内容】

■全体事項

項目	内容	備考
基本構想に反映する機能・ゾーニングについて	<ul style="list-style-type: none"> ○西口駅前広場と駅ホームへのアクセス位置、第三回 WS の意見を踏まえた西口駅前広場内の機能配置（交通結節機能、広場機能・滞在・視点場機能） <p>【第三回 WS の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改札を出たところが交通ローターであり、観光客を出迎える玄関口の空間としては、広場の方が良い。魅力づくりが必要。 ・諏訪湖への眺望、駅から柳並線を介して諏訪湖までの軸線は重要。 	

■個別事項

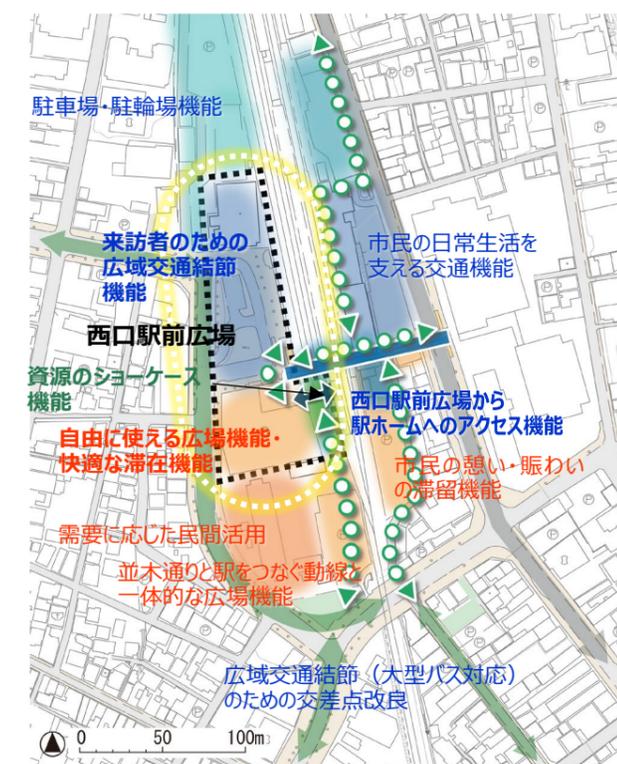
項目	内容	備考
ステップ2（ステップ3を見据えて）		
西口駅前広場と駅ホームへのアクセス部の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ○東口改札口、資源のショーケース機能との役割分担による西口駅前広場と駅ホームへのアクセス部に必要な機能（案内、待合など）と、適正規模 ○空間づくりや出入り方向 ○民間活用の可能性 <p>【第三回 WS の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改札を出たところが交通ローターであり、観光客を出迎える玄関口の空間としては、広場の方が良い。魅力づくりが必要。（再掲） ・改札前に案内機能があった方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ※次年度以降の基本計画で詳細を検討 <p>基本構想にイメージパース（スケッチ）を提示するため、整備イメージを共有したい</p>
西口駅前広場と駅ホームへのアクセスから各方面への動線・小広場について	<ul style="list-style-type: none"> ○自由に使える広場（資源のショーケース）、自由通路、東日本旅客鉄道株式会社の敷地もしくは3番線跡スペースでの南側並木通り方面への動線 ○アイストップとなる空間づくりのイメージ <p>【第三回 WS の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳並公園との繋がりで緑豊かな広場空間があると良い。 ・自由に使える広場だけでなく、市民が憩える空間も欲しい。 	
諏訪湖への視点場の配置について	<ul style="list-style-type: none"> ○資源のショーケース機能と併せた視点場の必要性、空間づくりのイメージ <p>【第三回 WS の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖への眺望、駅から柳並線を介して諏訪湖までの軸線は重要。（再掲） ・駅ホームから諏訪湖を眺望できる方が来訪者の思い出に残る。 	
柳並線、並木通りの交差点改良について	<ul style="list-style-type: none"> ○中距離大型バスのスムーズな動線の必要性 <p>【第三回 WS の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳並公園の緑は、貴重な財産であり、保全して欲しい。 	
笠森小路と連携した滞留機能について	<ul style="list-style-type: none"> ○滞留のための広場・施設の必要機能、規模 	
ステップ3	<p>案①と案②の基本構想の提示方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅舎再整備等のタイミングに合わせ、今後の社会情勢や、交通、人の流れ等の状況変化に応じ、改めて検討する必要があるため、本構想では、案②の駅舎の橋上化+自由通路の新設を含め、2つの案を参考提示すること <p>【第三回 WS の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の諏訪は高齢化に伴い、経済的・財政的に厳しいため、先送りしたものは実現しないと考える。橋上駅は現時点でなくすべきではない。 	

【西口駅前広場内の機能配置パターン】

案①：柳並線上に広場機能+資源のショーケース・諏訪湖への視点場となる機能を配置する案



案②：西口駅前広場と駅ホームへのアクセス部前に広場機能・滞留機能を確保する案

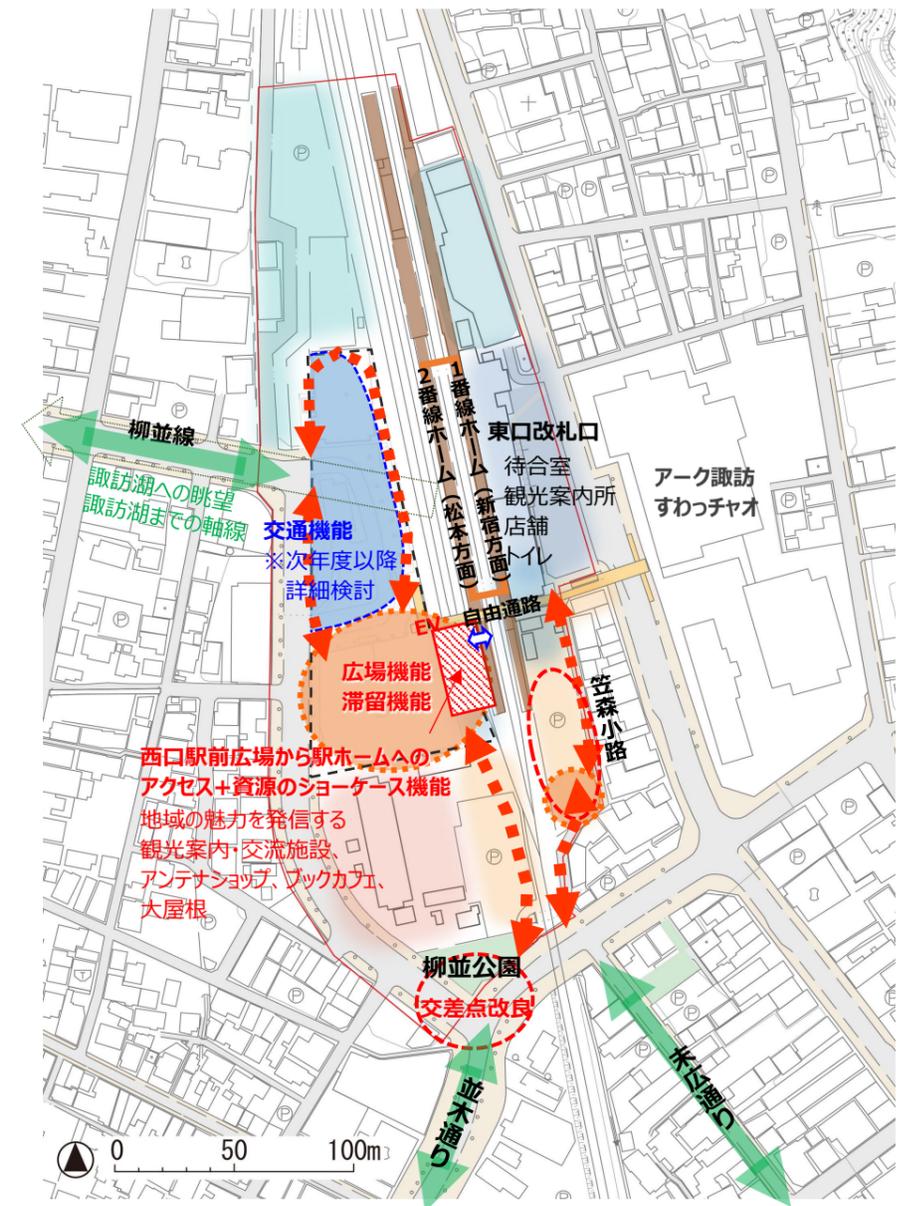
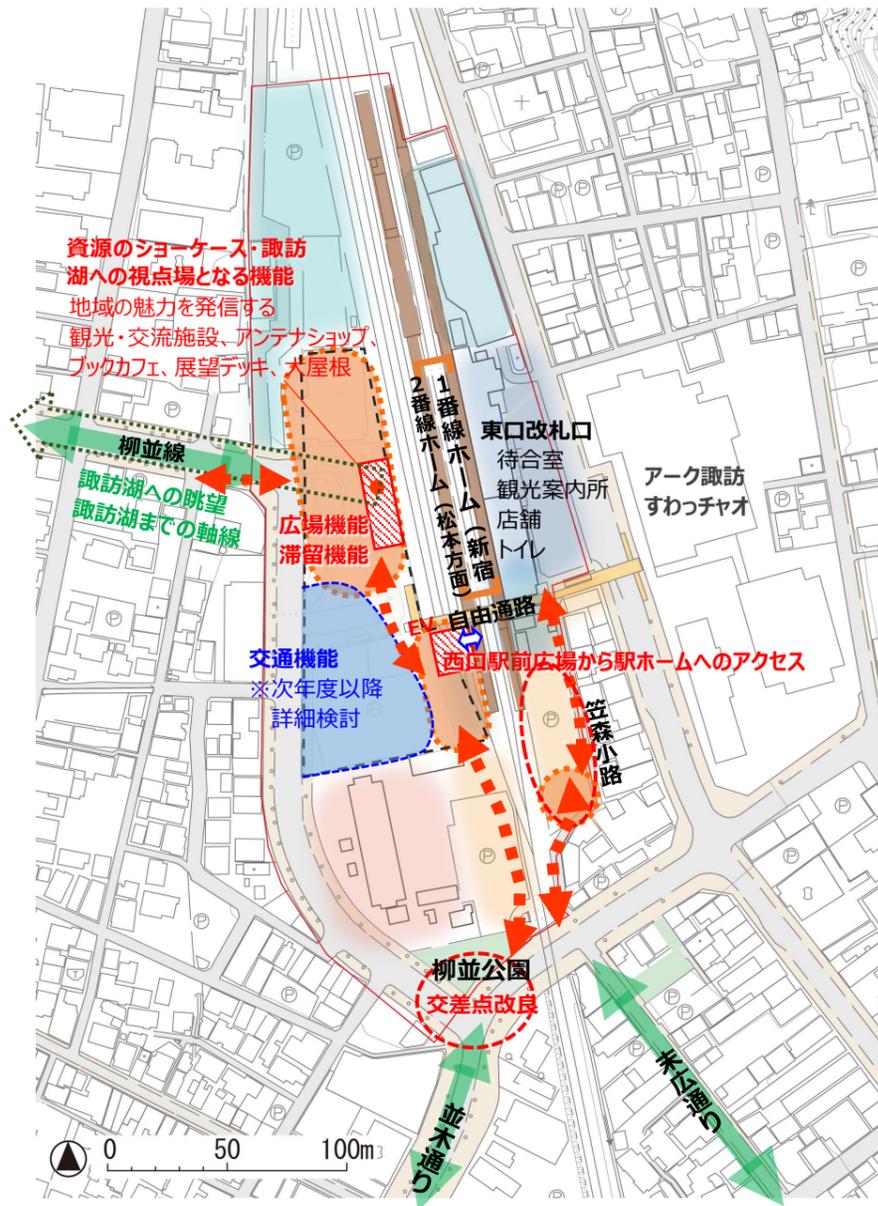


【西口駅前広場内の機能配置パターンの施設レイアウト案】

案①：柳並線上に広場機能+資源のショーケース・諏訪湖への視点場となる機能を配置する案

案②：西口駅前広場と駅ホームへのアクセス部前に広場機能を確保する案

施設レイアウト案



特徴	駅ホームへのアクセス部前の空間形成	駅ホームへのアクセス部前が交通機能であるため、 新たな玄関口としての空間づくりに制限が生じる	ホームへのアクセス部前に広場機能を確保することで、 新たな玄関口としての空間を創出しやすい
	諏訪湖への視点場	柳並線の延長上に、広場と一体となった資源のショーケース機能を配置することで、 諏訪湖への視点場の創出が可能	柳並線の延長上が交通機能となるため、 新たな視点場の創出ができない ※諏訪湖への眺望確保は、補完的に2番線ホームから確保等の別途検討が必要
	資源のショーケース機能	駅ホームアクセス部での機能と資源のショーケース機能が分離するため、 機能分担が必要	資源のショーケース機能が 1箇所に集約される
	交通結節機能	駅ホームへのアクセス部から交通機能が近いため、 乗り換え等の利便性が高い	駅ホームへのアクセス部から交通機能が遠くなるため、 乗り換え等の利便性が低い
	広場機能・滞留機能	柳並線から諏訪湖湖畔公園との一体的活用や連携が可能	保線技術センターの民間活用や広場機能、柳並公園との一体的活用や連携が可能
	まちへの誘導	柳並線との接続が広場機能・滞留機能のため、諏訪湖や上諏訪温泉街への 円滑な歩行者動線の確保が可能	柳並線との接続が交通機能のため、諏訪湖や上諏訪温泉街への 円滑な歩行者動線の確保が困難